

生徒会オリエンテーション

入学式の翌日、4月10日(水)の午後に生徒会オリエンテーションが行われました。入学と同時に全生徒が南千住二中学生会の会員となります。生徒会オリエンテーションでは、“生徒会活動とは何か”、南千住二中学生会スローガンや各専門委員会の活動内容が説明されました。

この会はそれと同時に、2、3年生と新1年生の「対面式」の意味もあわせもっています。1年生と向かい合って、2、3年生が校歌を紹介したり、入会の証に鉢植えの花が1年生にプレゼントされました。

1年生を代表して、○○○○○くん(1-3)から上級生へ、「今日はありがとうございました。南二中のしくみが少しずつわかってきました。これからもわからないことがたくさん出てくると思いますが、そのときはまた教えてください。よろしく願います。」という会のお礼と入会の誓いのことばが述べられました。

生徒会オリエンテーションの翌日には部活動説明会も行われました。1年生が楽しみにしていた部活動の紹介です。各部の部長を中心に活動内容が説明され、1年生の仮入部が始まりました。



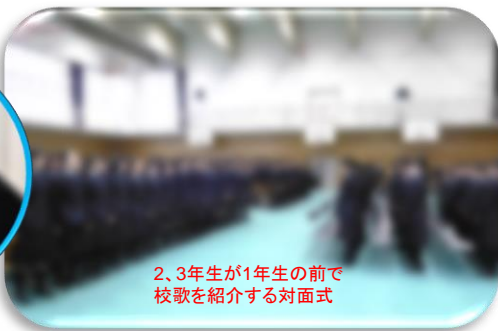
生徒会本部役員の紹介



3年生から1年生へ
歓迎の鉢植え贈呈式



1年生代表
の○○くん



2、3年生が1年生の前で
校歌を紹介する対面式

JRC登録式

4月15日(月)には、JRC登録式が行われました。南千住二中は、JRC(Junior Red Cross = 青少年赤十字)に全校加盟しており、地域清掃やボランティア活動などに取り組んでいます。JRC委員会や学校の特色であるレスキュー部の活動もこのJRCの活動に深く関わっています。今年度は講師としてJRC東京支部の塩入睦夫先生をお招きして、青少年赤十字の精神や歴史にはじめて、「青少年赤十字は、困った人がいたら助けてあげられる人になることが目標であり、そのために、健康でボランティア精神をもち、世界に目を向けていこう」と目標や活動などについてお話をいただきました。つづいて新入生のJRC登録式が行われました。生徒会本部役員の○○○○くん(3-1)の宣誓に続き全校生徒がJRCの一員である自覚をもつために「誓い」を唱和しました。

また、JRC委員長の○○○○さん(3-2)とレスキュー部部長の○○○○さん(3-3)がそれぞれの活動報告をしました。これまでのレスキュー部の活動が東京消防庁や東京都教育委員会から高い評価をいただき、昨年度は皇后陛下ご臨席のもと行われた日本赤十字社全国大会で中学校防災部の代表として南千住二中が発表を行うという名誉を受け、大きな励みとなりました。

最後に、新たに登録された1年生を代表して○○○○さん(1-2)が、塩入先生からJRCバッジを授与されました。校歌斉唱では、歌詞カードを見ながらも、元気よく歌う1年生の姿も見られました。



JRCの一員として
宣誓する○○くん

講師の塩入先生



1年生代表の
○○さん



レスキュー部部長の
○○さん(左)とJRC
委員長の○○さん(右)



3学年揃って校歌斉唱

第30回卒業式



卒業証書
授与

記念品贈呈

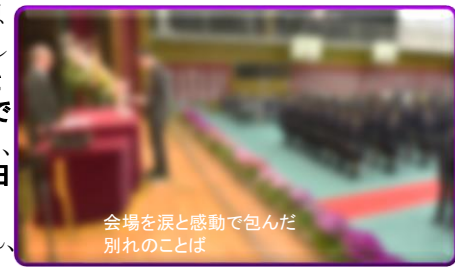
前年度3月19日(火)に、南千住二中第30回卒業式が挙行されました。卒業式は中学校の教育課程を全て終了したことを祝う式典です。卒業生も在校生も最高の卒業式にしようと、立ち居振る舞い、身だしなみ、返事や言葉、合唱などすべてに全力を込めて練習に取り組んできました。

その成果もあり、当日は息の合った礼法でたいへん厳粛に感動的な式を行うことができました。卒業証書授与では担任の先生から一人ずつ名前を呼ばれ、壇上で返事をして卒業証書を受け取りました。晴れやかな表情と堂々とした姿は、3年間で心身ともに大きく成長したことを感じさせるもので、誇らしくもありました。校長先生の式辞では、「皆さん一人ひとりにぜひ幸せになってほしい」とはなむけの言葉が贈られました。ご来賓の方々からのご祝辞や記念品を贈呈される卒業生代表○○○○○さんの態度も立派でした。

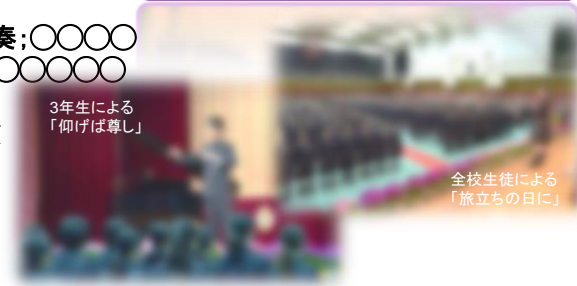
卒業生代表・前生徒会長○○○○○くんの別れのことは、入学当初の思い出からはじまりました。万感の思いが溢れ、○○○くんのことは途中から涙声に…。数々の失敗や後悔を味わったからこそ、学校のいたるところに思い入れがあるという言葉に、3年間の思い出と感謝が鮮やかに蘇り、卒業生たちの目にも涙が溢れました。保護者に向けた「ときには反抗的な態度をとってしまうこともありましたが、いつも温かく見守り、学校に通わせ、今日まで育ててくれてありがとう」という素直な思いの詰まった言葉には、席で見守る保護者も涙をこらえきれませんでした。最後に「明日からは、この南二中での思い出を胸に、それぞれが自ら決めた道に前を向いて進んでいきます」という力強い言葉で結ばれ、小林くんと校長先生は堅く握手を交わしました。

卒業生の「仰げば尊し」(指揮:○○○○○くん、伴奏:○○○○○さん)、全校生徒による式歌「旅立ちの日に」(指揮:○○○○○さん、伴奏:○○○○○くん)、で式は最高潮を迎えました。そして最後に、全校生徒全員による圧巻の校歌で卒業生を送り出しました。

平成30年度の卒業生は、男子79名、女子62名、計141名で、南千住二中の卒業生累計は2,813名となりました。卒業生の皆さんの一層の活躍をお祈りしています。



会場を涙と感動で包んだ
別れのことは



3年生による
「仰げば尊し」

全校生徒による
「旅立ちの日に」

東京都体育優良生徒

○○○○○くん、○○○○○さん

東京都産業教育奨励賞

○○○○○さん、○○○○○さん

JRCメンバー卒業表彰 功労表彰

○○○○○さん、○○○○○くん

JRCメンバー卒業表彰 善行表彰

○○○○○さん、○○○○○さん、○○○○○くん、○○○○○くん、

○○○○○くん、○○○○○くん、○○○○○さん、○○○○○さん

荒川区教育奨励賞【努力の部】

○○○○○くん、○○○○○さん、○○○○○くん、○○○○○くん

荒川区教育奨励賞【皆勤の部】

○○○○○くん、○○○○○くん、○○○○○さん、○○○○○くん、○○○○○くん、

○○○○○くん、○○○○○さん、○○○○○さん、○○○○○さん、○○○○○さん、

○○○○○くん、○○○○○くん、○○○○○さん、○○○○○さん、○○○○○さん

卒業期表彰生徒

始業式・第31回入学式

始業式



クラス発表にわきたつ
2、3年生の皆さん

新任の左から、伊藤副校長先生、
橋本先生、小向先生、小島先生

平成最後であり、令和元年度となる始業式が4月8日(月)に行われました。朝8時からの新クラス発表では、早くから集まっていた生徒が一斉にクラスごとの名表の元に駆け寄り、自分の名前を探したのち、同じクラスの友だちを見つけては手を取り合い、喜び合う様子が至る所で見られました。3年生は春休みに転入生が2名入り、122人の4クラス。2年生は110人のため、1年時は中1生支援の1クラス35人までの4クラスでしたが、2年生からは1クラス40人までの3クラスで新年度をスタートしました。新しいメンバーで気持ちも新たにスタートした2年生、3年生。これからの1年でさらに**‘たくましく’成長**していくことでしょう。

始業式では、転出された先生につづき、新たに南千住二中来られた教職員4名が紹介されました。さらに担任・副担任の発表があり、学年による教員の配置変更もあり、驚きや期待に包まれた歓声が上がりました。その後、校長先生から**「自分の置かれた場所で花を咲かせなさい」**とお話があり、2、3年生は新クラスでもプラス思考を大切に自らの道を切り開いていこうという決意でひとときわ表情を輝かせました。

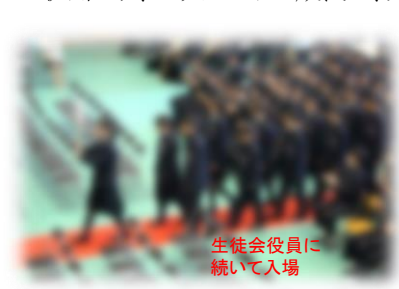
始業式翌日の4月9日(火)には南千住二中第31回入学式が行われました。今年度の新入生は、男子60名、女子65名、計125名の4クラス。今年度は全学年で11クラスのスタートとなりました。

式は温かく和やかな雰囲気の中で行われました。新入生入場では、誘導係の生徒会役員を先頭に、足並みを揃え、元気よく手を振り堂々と入場できました。会場からは大きな拍手があふれ、すこし緊張気味な表情も晴れやかなものとなりました。ひとりひとりの名前が担任の先生から読み上げられる呼名では、会場に「はい」と応える明るく元気な声が響き、南千住二中での新しい生活に対する希望が満ちあふれていました。式での起立や南二中の伝統である黙礼も初めてでしたが、朝の短い学活での練習だけでしたらしっかりできました。校長先生の式辞の中では南千住二中が全校加盟しているJRC行動目標である**「気づき、考え、実行する」**を新入生全員で唱和しました。

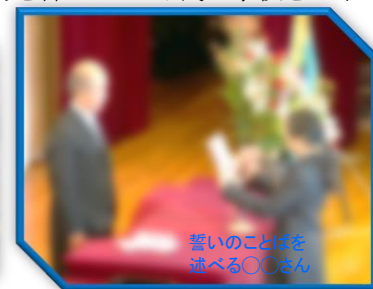
また、生徒会長○○○○○さん(3-4)の歓迎のことばに続き、新入生代表の○○○さん(1-1)が**「南千住第二中学校の生徒として、支えてくれる方々への感謝の気持ちを忘れず、それぞれの目標に向かい、精一杯努力します」**と誓いのことばを述べました。

また、式の終わりには、指揮○○○くん(3-2)、伴奏○○○くん(3-1)による、2、3年生の校歌(校歌紹介)斉唱がありました。式典の最後を校歌で締めくくるとは、南二中の伝統であり、南千住二中学生としての誇りを胸に高らかな歌声がアリーナ(体育館)に響き渡りました。

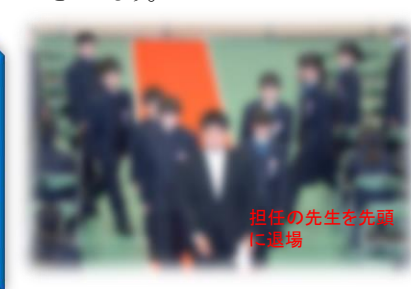
全校生徒357名。仲良く楽しく、そして何事にも一生懸命に取り組み、一人ひとりが成長し、力を合わせてより良い学校をつくっていきましょう。



生徒会役員に
続いて入場



誓いのことばを
述べる○○さん



担任の先生を先頭
に退場

教職員の紹介

新年度に伴い、教職員の異動がありました。
これまで学校を支えてくださった先生・主事さん方
ありがとうございました。

- [転 出] 副 校 長 飯 島 和 弘 先生(荒川区立第四中学校へ)
- 数 学 門 脇 晃 子 先生(板橋区立上板橋第一中学校へ)
- 体 育 末 永 佳 奈 子 先生(板橋区立上板橋第三中学校へ)
- 栄 養 士 山 脇 路 子 先生(荒川区立第四中学校へ)
- N E A ジ ョ ー ム ・ ゴ ー ル ド 先生(実践学園高校へ)
- 特別支援教育補助員 君 野 翼 先生(西東京市立田無第一中学校新規採用)
- 特別支援教育補助員 小 笠 原 悠 太 先生(荒川区立第四中学校へ)
- 非常勤講師 橋 正 人 先生(中央区立晴海中学校新規採用)
- [退 職] 特別教育支援員 堀 内 淳 先生
- [新 転 任] 副 校 長 伊 藤 錦 之 助 先生 栄 養 士 小 向 朋 美 先生
(荒川区立第一中学校より) (荒川区立第四中学校より)
- 体 育 橋 本 和 加 子 先生(新規採用) 特別教育支援員 小 島 英 雅 先生
(荒川区立尾久八幡中学校より)

平成31年度 教職員一覽

よろしくお願ひします。

	職名等	担任	氏名	教科等
	校長		齊 藤 進	経営
	副校長		伊 藤 錦之助	経営
1 学 年	主任教諭・1学年主任	1組担任	寺 岡 武	技術
	教諭	2組担任	平 岡 祐 樹	数学
	教諭	3組担任	南 部 大 樹	英語
	主幹教諭・教務主任	4組担任	野 口 敦 広	社会
	教諭	副担任	長 田 亘 子	理科
	教諭	副担任	橋 本 和 加 子	保健体育
2 学 年	主任養護教諭・保健給食主任	学年所属	塩 畑 伸 恵	養護
	主幹教諭・2学年主任・生活指導主任	副担任	中 陳 啓 司	理科
	教諭	1組担任	小 林 朋 生	国語
	教諭・司書教諭	2組担任	松 本 し お り	社会
	主任教諭	3組担任	澤 田 真 樹 子	英語
	主任教諭・研究主任	副担任	武 田 利 志	音楽
3 学 年	主幹教諭・3学年主任	1組担任	飯 田 朋 子	国語
	教諭	2組担任	水 村 英 美 子	家庭
	教諭	3組担任	加 藤 青 覇	保健体育
	主任教諭・進路指導主任	4組担任	宗 広 優 子	美術
	教諭	副担任	富 山 晃	数学
	教諭	副担任	鬼 澤 大 地	数学
	教諭	副担任	酒 井 和 彦	英語
	事務主事・庶務主任	—	新 妻 禪 行	事務
	用務主事・技能主任	—	亀ヶ谷 千 鶴	用務
	用務主事	—	井 上 和 歌 子	用務
	図書館指導員・学校司書	—	上 原 樹 代	司書
	非常勤栄養士	—	小 向 朋 美	栄養士
	非常勤職員	—	山 田 正 美	事務
	非常勤職員	—	遠 藤 直	用務
	臨時職員	—	金 宮 美 代 子	事務
	臨時職員	—	笹 岡 博 明	事務
	学校管理員	—	桂 田 武 夫	学校管理
	学校管理員	—	赤 坂 昌 宏	学校管理
	非常勤講師	—	西 窪 秀 子	国語
	非常勤講師	—	飯 島 亮	社会
	非常勤講師	—	後 藤 太 一	数学
	非常勤講師	—	田 中 淳	理科
	非常勤講師	—	浅 野 大 将	保健体育
	非常勤講師	—	櫻 井 直 子	英語
	外国人指導員(NEA)		未定(5月確定予定)	英語
	スクールカウンセラー	—	松 井 洋 子	カウンセリング
	心理専門相談員	—	小 野 颯	心理相談
	特別支援教育支援員	—	小 島 英 雅	特別支援
	他 情 報 教 育 支 援 員 (巡 回) ・ 部 活 動 指 導 員 ・ 給 食 調 理 員 (北 川 野 田 様)			

